

**本件連絡先**

担当：総合政策部政策推進課：桐岡

TEL：072-483-0004

Mail：seisaku@city.sennan.lg.jp

平成26年10月31日

泉南市報道提供資料  
泉佐野市政記者クラブ会員 各位

泉南市秘書広報課長 川端 豊  
(広報担当：藤原)

**泉南市定住促進検討プロジェクトチームの研究報告会の開催について**

第5次泉南市総合計画に掲げるまちの将来像の実現に向けて、本市が直面する深刻な人口減少課題に早期に対応するため、若手職員を中心とする泉南市定住促進検討プロジェクトチームが、2ヶ月半にわたって研究した定住促進に係る施策等の提言について、下記の日時に報告会を開催しますのでお知らせします。

**記**

と き：11月7日（金） 午前10時30分から午後4時  
※スケジュールの詳細は、次項にてご確認ください。

と ころ：泉南市役所 2階 大会議室 （泉南市樽井1丁目1番1号）

報告内容：6つのテーマごとに下記の事項について報告を行います。

- (1) 本市の人口減少に係る現状の把握と課題の抽出・検討に関する事項
- (2) 移住及び定住の促進に向けた目的及び目標の設定に関する事項
- (3) 目的及び目標を達成するための主要な施策に関する提言

出 席 者：市長・副市長・教育長・部長級職員  
外部講師（有限会社 あしコミュニティ研究所 代表 浦野 秀一）

報 告 者：泉南市定住促進検討プロジェクトチーム  
1グループ5～6名の6グループ

お 願 い：・会場のキャパシティが限られているため、取材・傍聴を希望される方は、事前に担当までご連絡下さい。  
・取材に際しては、現場係員の指示・誘導に従ってください。

## 泉南市定住促進検討プロジェクトチーム研究報告会スケジュール

区 分		自	至
開 会		10 : 30	10 : 40
C班 【テーマ】 魅力あるまちづくりのため、商店 を中心としたまちおこし	報 告	10 : 40	11 : 00
	質疑応答	11 : 00	11 : 10
D班 【テーマ】 今ある資源をフル活用して活気 あるまちへ	報 告	11 : 15	11 : 35
	質疑応答	11 : 35	11 : 45
休 憩		11 : 45	13 : 00
F班 【テーマ】 既存施設のリノベーション	報 告	13 : 00	13 : 20
	質疑応答	13 : 20	13 : 30
B班 【テーマ】 高齢者の社会参加といきがいの あるまちづくり	報 告	13 : 35	13 : 55
	質疑応答	13 : 55	14 : 05
休 憩		14 : 05	14 : 15
E班 【テーマ】 多様なニーズに応じた教育環境 の充実	報 告	14 : 15	14 : 35
	質疑応答	14 : 35	14 : 45
A班 【テーマ】 自然を活かしたイベントづくり による定住促進事業	報 告	14 : 50	15 : 10
	質疑応答	15 : 10	15 : 20
休 憩		15 : 20	15 : 30
講 評（市長・講師）		15 : 30	16 : 00

## 泉南市定住促進検討プロジェクトチームの基本的な進め方

### 1. 背景

民間有識者でつくる「日本創生会議」の分科会において公表された将来推計結果では、2040年には20～39歳の女性の割合が現在の5割以下になる地方自治体は全国の約半数に上り、残った女性の合計特殊出生率が改善しても人口が減り続けると指摘している。また、出生率の低下と併せて、若者が仕事を求めて都会へ流出し、人口減少スピードがさらに加速する悪循環が生じる、潜在的な「消滅可能性自治体」が多く存在しているとの警鐘が鳴らされている。

大阪府においても、いくつかの市区が「消滅可能性都市」に該当するとされており、今後、教育、福祉、まちづくり、安全と安心、魅力創出など、あらゆる政策の観点から、真摯に人口減少対策に取り組む必要性に迫られている。

### 2. 目的

以上のことから、泉南市（以下「本市」という。）においては、第5次泉南市総合計画に掲げるまちの将来像の実現に向けて、本市が直面する深刻な人口減少課題に早期に対応すべく、若手職員を中心とする定住促進プロジェクトチーム（以下「プロジェクトチーム」という。）において、これから本市が戦略的に展開すべき定住を促進する施策の検討を行うことを目的とする。

### 3. 検討事項

プロジェクトチームでは、5から6名で構成されるグループに分かれ、次の各号に掲げる事項についてそれぞれ検討を進める。

#### （1）人口の減少に関する調査・研究に関する事項

本市の人口推移及び人口推計を通して、少子化、人口流出の観点からその原因、課題を検討するとともに、少子化、高齢化、生産年齢人口の減少など、各年代の増減が及ぼす本市への影響についても調査・研究を行う。

#### （2）移住及び定住を促進する施策の検討・提言に関する事項

前号で行った結果に基づき、移住や定住など人口増加に寄与する施策について検討を行い、これから積極的に取り組むべき施策について提言書を作成する。

#### （3）その他定住を促進するための必要な事項

全国に先駆けて定住促進に取り組み、成果を上げている先進事例の研究を行い、自らの研究成果に反映させる。

#### 4. 検討方法

- (1) 人事課が主催する「政策課題研修」へ参加し、講師の指導の下、課題の分析、集約化、さらに具体化・明確化し、提言を行う基礎づくりの研修を実施する。そして、グループごとに積極的に研究を進めていく過程の中で、研究報告する中心となるテーマを決める。
- (2) 研究報告会に向けて、それぞれのグループで自主研究を進めるとともに、プロジェクトチーム事務局（政策推進課）が開催する定住促進プロジェクトチーム会議へ出席する。
- (3) 人事課が主催する「フォロー研修」へ参加し、それぞれのグループの研究の進捗について話し合い、講師からアドバイスを受け研究を進めるとともに、研究報告会に向けた準備を行う。
- (4) 研究報告会に向けて、それぞれのグループで自主研究の成果をまとめ始めるとともに、プロジェクトチーム事務局が主催する定住促進プロジェクトチーム会議へ出席する。
- (5) 人事課が主催する「研究報告会」へ参加し、それぞれのグループの自主研究の成果となる、定住促進に向けた提言についてプレゼンテーションを行う。その後、市長及び講師から講評をいただく。

#### 5. その後のスケジュール

- (1) 部長級で組織する（仮称）泉南市定住促進検討委員会（以下「委員会」という。）、またプロジェクトチームが提言した課題に関連する部課等の長級で組織する（仮称）泉南市定住促進検討会作業部会（以下「作業部会」という。）を設置する。
- (2) プロジェクトチームの提言については、事務局がまとめ、作業部会においてその必要性、有効性、効率性及び可能性の4つの指標に基づいて具体的な検討を進める。
- (3) 作業部会において具体的な施策の検討を進めるとともに、提言と作業部会において、（仮称）泉南市定住促進の戦略的な展開に関する基本方針（以下「基本方針」という。）の骨子を検討する。
- (4) 事務局において、基本方針の骨子を基に方針（素案）を作成し、委員会で検討を行う。
- (5) 委員会で数回の検討を行った後、方針（素案）についてパブリックコメントを実施する。
- (6) パブリックコメント終了後、寄せられた意見に対する回答及び基本方針への反映を検討し、委員会において方針（案）を決定する。
- (7) 方針（案）については、市長決裁後、正式な「（仮称）泉南市定住促進の戦略的な展開に関する基本方針」として公表を行う。
- (8) 基本方針に基づき予算要求及び編成を行い、翌年度から施策を戦略的に展開